

令和5年度 学校評価



山江村立山田小学校 教育目標

「将来への夢を持ち、夢の実現に向かって、たくましく生きる山田っ子の育成」



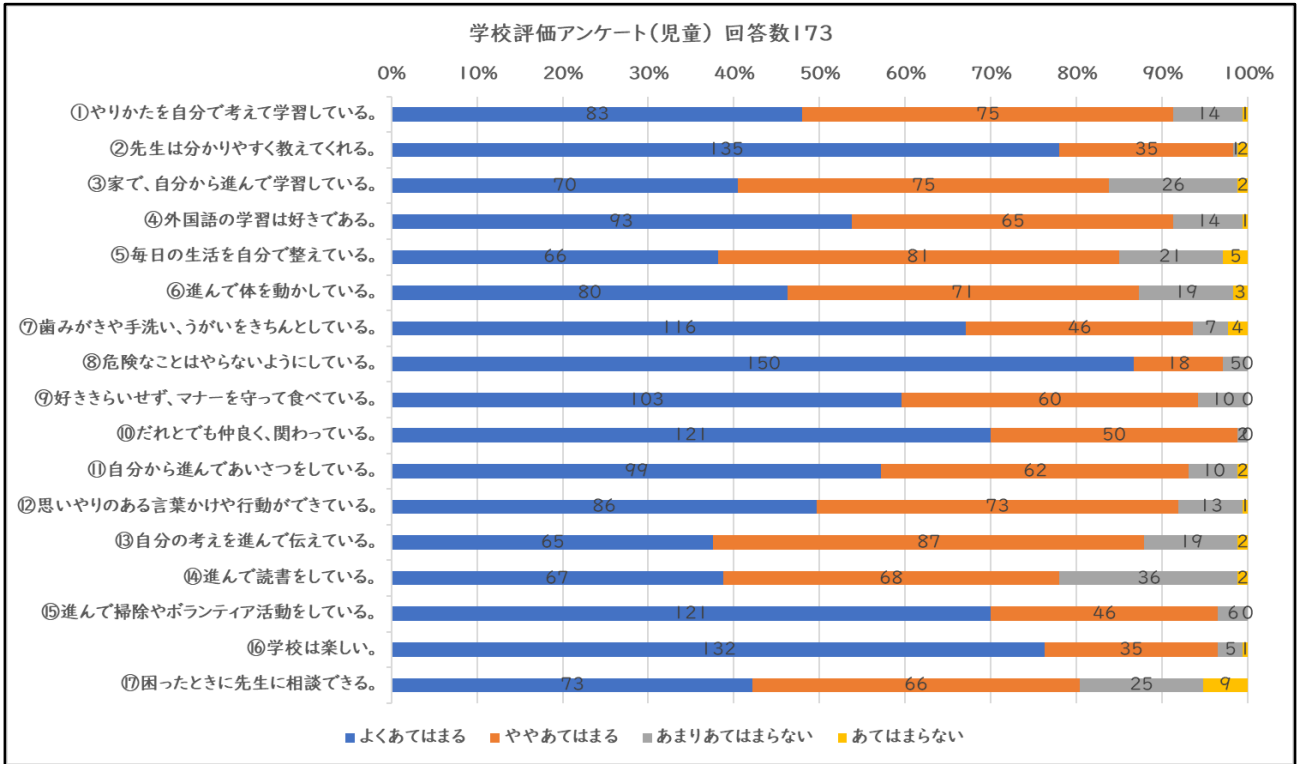
令和6年3月
山江村立山田小学校

令和5年度 学校評価アンケートの結果と考察及び改善に向けて

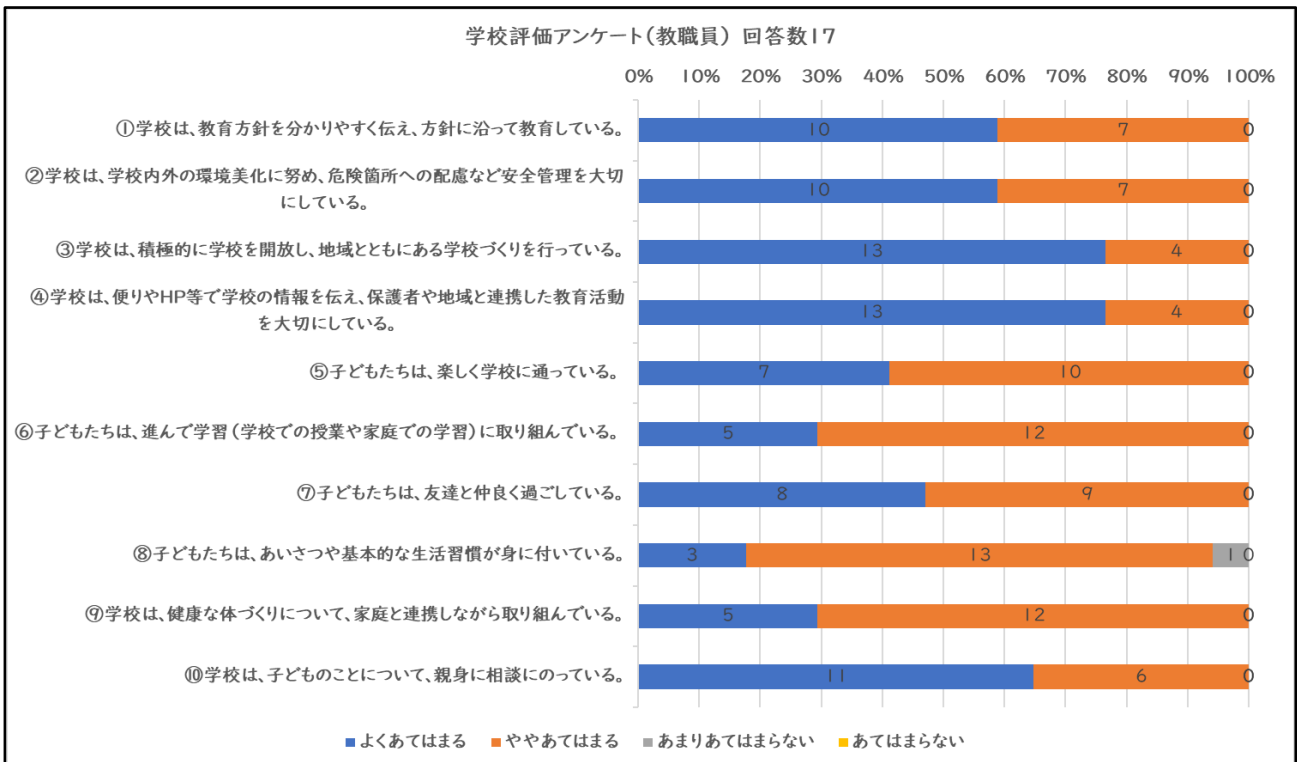
山江村立山田小学校

1 学校評価アンケートの結果

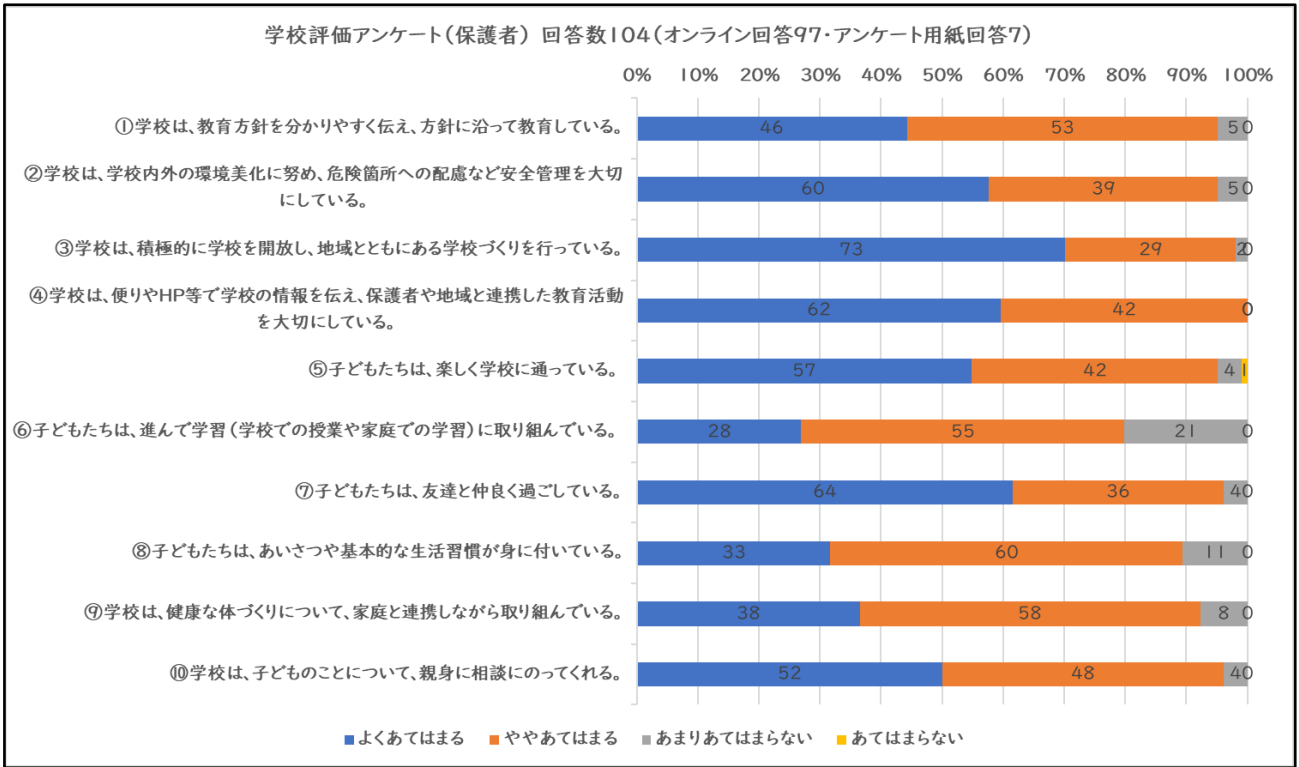
(1) 児童アンケート結果



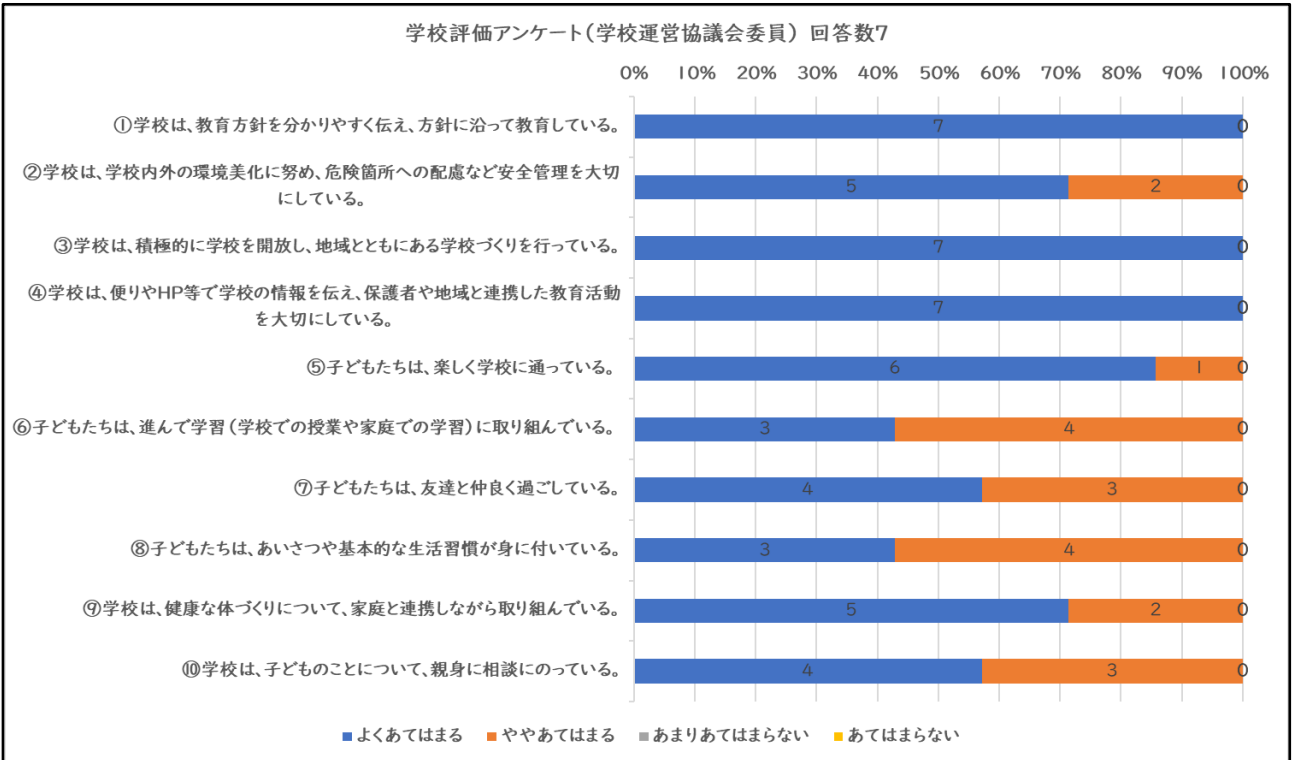
(2) 教職員アンケート結果 (自己評価)



(3) 保護者アンケート結果



(4) 学校運営協議会委員アンケート結果



2 アンケート結果の考察及び改善に向けて

【児童アンケートより】

- (1) 項目⑭の進んで読書をしているについて、あまりも含め、あてはまらないと回答した児童が22%程度いる。本年度は毎週月曜の朝の時間、ボランティアの方々による読み聞かせを実施して本に親しむ機会を設けてきたが、児童が進んで読書をするにつながっていないことが明らかとなった。今後の改善に向けて、ハートブックの取組の見直しや児童主体の委員会活動の推進など検討したい。
- (2) 項目⑰の困ったときに先生に相談できるについて、あまりも含め、あてはまらないと回答した児童が20%程度いる。児童に安心感を与える教職員集団になるために、児童理解のさらなる充実を図るとともに、教職員の人権教育・生徒指導・特別支援教育等の意識を高めていきたい。

【教職員アンケートより】

- (1) 項目⑧の子どもたちは、あいさつや基本的な生活習慣が身に付いているについて、教職員の評価はあまり高くない。校内でのあいさつについては、自分から進んで爽やかなあいさつができる児童が増えてきているので、今後も教職員が率先してあいさつすることで、児童のあいさつの習慣を定着させたい。基本的な生活習慣については、就寝時刻が遅いことで翌朝起きられず、登校時刻に間に合わなかったり、朝食を食べずに登校して、学習活動に支障が出たりする児童が少なからずいた。基本的な生活習慣の定着のために、家庭との連携を強化したい。

【保護者アンケートより】

- (1) 項目⑥の子どもたちは、進んで学習（学校での授業や家庭での学習）に取り組んでいるについて、保護者の20%程度が低い評価であった。本年度、児童に学習を計画する力、状況に応じて学びを自己調整する力を身に付けさせる取組を行ってきたが、定着までにはもう少しの状況である。本年度の取組の成果と課題を踏まえ、次年度の取組に生かしていきたい。
- (2) 項目⑧の子どもたちは、あいさつや基本的な生活習慣が身に付いているについて、保護者の10%程度が低い評価であった。学校だけではなく家庭、地域も含めたあいさつの習慣化や、「早ね・早おき・朝ごはん」等を含めた基本的な生活習慣の定着のための学校と家庭との連携など、課題改善に向けての取組を推進したい。

【学校運営協議会委員アンケートより】

- (1) 学校運営協議会会議の度に、授業参観や学習発表会参観を行ったことで、児童や教職員の様子、学校の教育環境を知っていただくことができた。また、地域住民の視点で、校区内の貴重な情報も提供していただいた。今後も地域に開かれた学校、地域とともにある学校を目指していきたい。